

メキシコ

主要データ

国名〔英名〕	メキシコ合衆国〔Mexican United States〕
面積(km ²)	1,964,375
海岸線延長(km)	9,330
人口(百万人)	125.6
人口密度(人/km ²)	63.9
GDP(十億US\$)	1,142.00
一人当りGDP(US\$)	9,094.18
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、金、銀、モリブデン、ビスマス、アンチモン
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛
鉱業管轄官庁	経済省(SE : Secretaría de Economía)
鉱業関連政府機関	メキシコ鉱業センター(SGM : Servicio Geológico Mexicano) 鉱業振興信託(FIFOMI : Fideicomiso de Fomento Minero)
鉱業法	鉱業法(Ley Minera) 鉱区の期限は50年、探鉱区と生産区との区別無し
ロイヤルティ	2014年1月施行の鉱業特別税及び貴金属鉱業特別税がロイヤルティに相当
外資法	外国投資法(Ley de Inversión Extranjera) 外資100%の参入が可能
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	生態系均衡環境保護一般法(Ley General del Equilibrio Ecológico y la Protección al Ambiente) 環境影響評価を環境天然資源省(SEMARNAT : Secretaría de Medio Ambiente y Recursos Naturales)に提出し、承認を受ける必要有り。SEMARNATが定めた環境・排出基準有り
鉱業公社	非鉄金属に関する鉱業公社は無し
鉱業活動中の民間企業	Grupo México社、Peñoles社、Minera Frisco社等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・エヒード(土地を保有する農業共同体)や地域住民との共有地賃貸借・売買等共有地問題 ・労働者への利益配分の不履行や労働組合員の不当解雇等に対する抗議活動としてのストライキ、鉱山不法占拠等が発生 ・2014年1月に施行された鉱業特別税及び貴金属鉱業特別税に基づく鉱業基金等の運用が進展 ・2016年12月、Zacatecas州政府は、土壌汚染、大気汚染、廃棄物の保管等を目的した環境税を創設
2017年以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年7月の大統領選挙において左派政党 MORENA 党の AMLO 大統領が選出 ・金属市況の回復により、5年ぶりに鉱業投資額が前年を上回り、鉱業投資が回復基調を示す ・米国トランプ政権誕生による NAFTA 再交渉の動向(2018年8月には米国・メキシコが二国間で協議の大筋合意を発表) ・エネルギー改革により、電力市場、石油・天然ガス分野の自由化が進展

1. 鉱業一般概況

(1) 鉱業投資状況

メキシコでは 2009 年以降、鉱業活動が活況を呈するとともに鉱業投資額が大幅に増加した。特に探鉱投資、設備投資や新規鉱業プロジェクト開発投資等の顕著な伸びにより、鉱業投資額は 2009 年の約 29 億 US\$ から 2012 年には 80 億 US\$ を超えるまでに増大、雇用も順調に拡大した(表 1-1、表 1-2 及び表 1-3 参照)。しかし、その後の資源価格低迷に加え、2014 年 1 月に施行された鉱業特別税及び貴金属鉱業特別税の影響により探鉱投資、設備投資、維持管理費等が抑えられた結果、2016 年の鉱業投資額は約 38 億 US\$ へ減少した。

2017 年に関しては、依然として探鉱への投資が弱いものの、資源価格上昇等から貴金属を中心とした新規プロジェクトへの投資が前年に比べ増加し、全体の鉱業投資額は 5 年ぶりに増加した。

表 1-1. メキシコの鉱業投資額(単位：百万 US\$)

	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 (見込み)
CAMIMEX 会員企業合計	7,145	5,831.5	4,166.3	4,171.7	3,250.2	3,638.9	4,559.2
(内訳) 探鉱	798	708.7	513.1	402.3	367.3	354.1	413.9
プロジェクトの拡張	711	584.1	339.5	719.4	558.0	462.2	495.3
新規プロジェクト	1,767	2,010.0	1,360.4	663.1	467.1	625.9	921.5
研修・生産性向上	140	69.6	75.7	42.2	26.5	75.5	80.5
設備購入	1,723	1,322.7	622.7	999.0	625.4	731.4	1,041.5
環境関連	116	106.7	88.1	202.9	190.3	175.7	248.5
保安	116	107.1	128.4	112.3	105.6	78.2	82.5
地域開発・地域支援	101	67.7	81.8	37.3	32.9	32.7	37.0
再生可能エネルギー	—	—	18.9	10.5	14.9	14.8	25.8
その他(維持管理含む)	1,673	854.9	937.7	982.8	862.3	1,043.7	1,128.3
CAMIMEX 非会員企業合計	898	744.3	781.4	458.7	500.0	663.2	700.4
(内訳) 探鉱	367	153.1	343.3	125.8	61.0	257.9	270.8
操業関係	531	591.2	438.1	332.9	439.0	405.3	429.6
合計	8,043	6,575.8	4,947.7	4,630.4	3,752.2	4,302.1	5,259.6

(出典：メキシコ鉱業協会(CAMIMEX) Informe Anual 2018)

表 1-2. メキシコ鉱業分野の雇用者数の推移 (単位：千人)

2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
273	270	284	310	329	333	341	345	355	371

(出典：CAMIMEX Informe Anual 2018)

表 1-3. 主な新規プロジェクト

プロジェクト名	会社名	鉱種	生産量見込み	投資総額 (百万 US\$)	操業開始
El Compás	加 Endeavour Silver 社	金 銀	0.4t n/a	11.3	2018
Planta de Lixiviación Dinámica en La Herradura	Fresnillo 社	金	1.1t	110	2018
Planta Piritas	Fresnillo 社	金 銀	0.4t 108.9t	155.0	2018
Proyecto de Lixiviación de Piritas	加 Goldcorp 社	金	4.4t	420	2018
San Félix	米 Mexus Gold、MarMar Holding 社	金	n/a	n/a	2018

Tahuehueto	加 Telson Mining 社	金 銀 銅	0.5t 6.2t 400t	32.2	2018
San Sebastián (拡張)	米 Hecla Mining 社	金	1.1t	n/a	2018
Rey de Plara	Peñoles 社	銀 銅	146.2t 7,000t	303.0	2019
Terronera	加 Endeavour Silver 社	金 銀	0.5t 49.8t	69.0	2019
La Ciénega (拡張)	Fresnillo plc 社	金 銀	0.9t 40.4t	55.0	2019
Pilares	Grupo México 社	銅	35,000t	n/a	2019
Juanicipio	Fresnillo plc 社、加 MAG Silver 社	金 銀	0.4t 311.0t	305.0	2020
Buenavista-Zinc	Grupo México 社	銅	20,000t	n/a	2020
Centauro Profundo	Fresnillo plc 社	金	2.0t	130	2022
El Pilar	Grupo México 社	銅	35,000t	n/a	n/a

(出典：CAMIMEX Informe Anual 2018)

(2) 主な出来事

①メキシコ大統領選挙

2018年7月、メキシコでは、大統領、連邦両院議員選挙に加え、州知事、州議会議員、市長等の公職が選出されるメキシコ史上最大の選挙が行われた。大統領選挙では、90年以上続いた2党政権から、結党4年足らずの左派政党 MORENA（国家再生運動党）の Andrés Manuel López Obrador 大統領候補（以下、AMLO 候補）が53%の得票率を得て圧倒的勝利を収めた。

選挙期間中、Grupo México 社幹部は、AMLO 候補の経済モデルは、国に被害を与えると警鐘を鳴らし、国民は緊張感を持つべきである。エネルギー改革、教育改革を排除する AMLO 候補の提案は、メキシコの実績を遅らせる。ベネズエラ、キューバのような大衆迎合主義者モデルは、MXN（メキシコペソ）下落を引き起こし、インフレに直結し、投資誘致を遅らせ、雇用が失われ、経済を下落させる。については、Grupo México 社従業員には、「大統領選挙において知的な投票を願う。」と異例のコメントを発表するなど、鉱山企業との軋轢が生まれる選挙であった。

②Grupo México 社、San Martín 鉱山の操業再開

2018年8月、Grupo México 社は現在操業停止中の San Martín 鉱山の操業再開を発表、2019年3月に生産開始する。同鉱山は、2006年に同社がメキシコ鉱山冶金労働組合（SNTMMRM）を脱退し、メキシコ全国鉱山・探鉱・採掘・選鉱労組（SNEEBMRM）への加盟変更手続きを進めたことに対し、SNTMMRM 元代表 Napoleón Gómez 氏を支持する組合員が抗議したことにより、10年以上ストライキが継続した状態にあった。2018年8月に同鉱山の鉱山労働者の投票が行われ、SNEEBMRM への再加盟とストライキの停止が発表された。

San Martín 鉱山は銅を中心に44百万t/年の鉱石が生産され、マインライフ32年である。また、Grupo México 社は操業再開のために77mUS\$を投じる計画であり、600人の直接雇用と3,000人の間接雇用が発生する見込みとなっている。

③ 鉱業に対する治安リスクの悪化

メキシコでは、一般犯罪に加え、鉱山労働者を含む誘拐・殺人事件、鉱山労働者等に対する脅迫、そして、鉱業品の盗難など治安リスクが存在しており、鉱山が直接的な被害を受ける事件は多くはないが、これらの事件により、鉱山企業のセキュリティ対策費は年々増加している。

特に、2015年は多くの事件が発生しており、2015年2月、加Torex Gold Resources社(本社：トロント)がGuerrero州に保有するEl Limón-Guajes金プロジェクト及びMedia Lunaプロジェクトを含むMorelos金鉱山地域近隣にて、同社鉱山労働者(同社従業員1名及び下請け企業従業員3名)を含む13名が地元マフィアに誘拐される事件、同年3月、加Goldcorp社(本社：バンクーバー)が同州に保有するLos Filos金鉱山において鉱山労働者4名が誘拐され、うち1名は解放されたものの3名が殺害される事件、同年7月にDurango州において車両で移動中の鉱山労働者が襲撃を受け11名が殺害され5名が負傷した事件が発生した。また、Nyrstar社がGuerrero州に保有するCampo Morado多金属鉱山では、労働組合に加盟していない労働者が鉱山入口を違法封鎖し断続的に操業を停止させ、さらに、下請け企業や労働組合加盟の鉱山労働者に対する脅迫にも及んだことから、従業員の安全等を考慮し同鉱山は操業を一時停止する事件が発生した。

直近では、2018年5月、加Pan American Silver社(本社：バンクーバー)がChihuahua州に保有するDolores金・銀鉱山において、鉱山へのアクセス道において武装グループによる脅迫事件が発生し、同鉱山は生産活動を低下させる措置を講じた。

その他、武装した強盗団が金、銀を強奪する事件が、2015年4月に加McEwen Mining社がSinaloa州に保有するEl Gallo1金鉱山、2016年7月に加Agnico Eagle社がSonora州に保有するLa India鉱山、2017年2月にJalisco州のEl Pilon鉱山において発生している。

④ 鉱山事故による環境への影響

2014年8月、Grupo México社の子会社Southern Copper社がSonora州で操業しているBuenavista銅鉱山において、銅浸出液が流出、付近の河川を汚染し、一時、同鉱山近隣の6つの自治体において飲料水の供給停止等が行われる事故が発生した。環境保護連邦検察庁(PROFEPA)によると、同事故はメキシコ国内で過去最悪の環境災害である。

同事故発生後、PROFEPAは、同社に対し更なる汚染阻止及び汚染除去対策を命ずる一方、刑事責任を追及する手続きに入った。また、環境天然資源省は、同社が事故直後の報告を怠った上、事故原因に関する虚偽報告を行ったとして制裁を科す旨を宣言した。これにより、環境当局による制裁金として40百万ペソ(約3百万US\$)が科せられたほか、同事故による環境被害への対策費として20億ペソ(134百万US\$)の信託基金を設立した。

2014年9月、Ildefonso Guajardo経済大臣は、同事故を受けて、環境や住民の健康を保護し安全を確保するため、鉱業に対する環境規制を強化する旨をメキシコ議会において表明した。同年11月、Alfonso Navarrete労働社会保障大臣は、事故当時発せられた非常事態宣言の解除を表明したほか、2015年3月には、PROFEPAが同鉱山に対し科していた一部操業停止措置を解除した。なお、2018年2月、Sonora州は、国家水委員会(Conagua)及びリスク保護委員会(Cofepris)によって実施された監視モニタリング・プロセスの結果から、同河川の状況は安定していると発表している。

しかし、環境NGO等は、同鉱山の流出防止システム、監視体制、有害廃棄物を処理設備が不十分であったこと、当局への対応に問題があったことなどを指摘し続けている者もあり、さらに、地域住民の一部には、Grupo México社及び連邦政府に対し、本事故の影響を受けた周辺住民と約束した措置が不履行であるとする者がいるなど、本事故の問題は未だ潜在化しており、引き続き、今後の動向には注視が必要である。

⑤ 鉱山ストライキ、デモ活動及び道路封鎖問題

メキシコでは、労働法に基づく労働者への利益配分の不履行や労働組合員の不当解雇、政府の対応等に対する抗議活動としてのストライキ、そして鉱山周辺住民等による道路封鎖等が敢行される。2016年以降の主な抗議活動は、以下のとおり。

- ・ 2016年3月、ArcelorMittal México社がMichoacán州に保有するLazaro Cardenas工場において、全国労働組合員及び従業員3千人以上が労働者の解雇に端を発したストライキを敢行
- ・ 2016年9月、加Goldcorp社がZacatecas州に保有するPeñasquito鉱山において、運送業者の変更手続に対し、同鉱山の運送関係者が抗議を行うため鉱山アクセス道を封鎖
- ・ 2017年2月、加Torex Gold社がGuerrero州に保有するEl Limón-Guajes鉱山において、鉱山周辺住民が、利益分配が不十分であるとしデモを実施
- ・ 2017年2月、加Primero Mining社がDurango州に保有するSan Dimas鉱山において、メキシコ全国鉱夫・冶金・鉄鋼労組員（SNTMMSSRM）約1,000人は、同社が行った生産効率化のための人員削減を不服とし、約2ヶ月間のストライキを敢行
- ・ 2017年5月、加First Majestic Silver社がCoahuila州に保有するLa Encantada鉱山において、同鉱山労働組合員が利益分配金の不履行に不満を示し、ストライキを起こし、同鉱山へのアクセス道を違法封鎖
- ・ 2017年9月、加Goldcorp社のPeñasquito鉱山において、鉱山周辺の先住民が鉱山からの水の供給に抗議のため鉱山メインゲート付近で抗議活動を実施
- ・ 2017年9月、Southern CopperがChihuahua州に保有するSanta Bárbara銅・鉛・亜鉛鉱山において周辺住民が同鉱山に対し経済支援を要請しアクセス道を封鎖
- ・ 2017年11月、加Torex Gold Resources社がGuerrero州に保有するEl Limon-Guajes金鉱山において、STMMSRとメキシコ労働者連合（CTM）の労働組合問題を提起し、同鉱山労働者のアクセス道の封鎖を実施
- ・ 2018年6月、Saltillo市運送協同組合員は、加Goldcorp社のサービス提供契約に違反があるとして、Zacatecas州とCoahuila州境に位置するPeñasquito鉱山の主要アクセス道をトラックにより閉鎖

また、鉱山労働者によるものではないが、2017年1月、元旦のガソリン料金値上げに対する抗議活動がメキシコ各地で発生した。抗議活動は、各地のスーパーマーケットにおける破壊・略奪行為、ガソリンスタンド、輸送トレーラーの襲撃・略奪、有料道路の料金所の占拠、幹線道路の封鎖、公共交通機関のストライキ等、大きな社会問題となり、鉱山へのアクセス道についても封鎖が発生し、鉱山の中には操業を一時停止する鉱山もあった。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 経済省鉱山次官ポストの新設

2016年12月、Enrique Peña Nieto大統領は、連邦行政組織法（Ley Organica de la Administración Pública Federal）等に従って、経済省に鉱山次官のポストを設置する大統領令を公布した。当該ポストは、鉱山活動の監督・調整を司る部門となり、その権限は、鉱業法等により行使され、探鉱・生産促進、鉱業関連の学術・企業支援に係る国内・国際フォーラム・イベント活動等を管轄する。

初代鉱山次官には、経済省においてこれまで鉱業行政の実質トップであった鉱業総調整官を2013年から務めていたMario Cantú氏（大蔵公債省、社会開発省顧問、PEMEXでの職務経験を有する）が就任した。AML0次期大統領の公約の1つである政府高官ポスト削減の議論の中で、同鉱山次官ポストの廃止が噂されたが、2018年9月、AML0次期大統領は、Francisco Quiroga氏を鉱山次官に指名した。同氏は、Steel Trading社、Steelcorp社、Metalcorp Group社、ArcelorMittal社、Villacero社に勤めるなど、ビジネス・国際貿易に関する経験を有している。

(2) 採取産業透明性イニシアティブ (EITI) 加盟に向けた動き

2015年1月、メキシコ政府はEITIへの加盟を表明、同年6月に国内においてEITIへの加盟に向けた共同ワーキンググループを発足し、7月にはEITIの運用ルールを国際標準として受け入れることを承認した。2016年11月、メキシコ政府はEITI基準実施の再確認作業を行い、大蔵公債省が行動原則宣言を行った。2017年7月、複数政党により起草されたEITI加盟に向けた作業計画が議会で承認され、2017年10月にフィリピンで開催される会合において、メキシコの取組みについて協議が行われ、メキシコはEITI加盟国となった。

(3) 鉱業国との協力協定の締結

2017年10月、メキシコ（経済省）とスウェーデン（通商担当省）は、二国間の鉱業分野における協力強化を目的とした覚書（MOU）を締結した。さらに、同月、メキシコ経済省は、エクアドル鉱業省と鉱山分野の協力協議実施に係る協定を締結した。

(4) 鉱業税制改革の実施とその後の動き

2012年12月に就任したPeña Nieto大統領率いる新政権は、政策目標の中に税制改革を掲げるとともに、与党と野党2党により締結された政策協定「メキシコのための協約」において税制改革を明記する等強い決意を持って税制改革に着手した。

一方、鉱業活動によって得られた利益を当該鉱業活動地域に対し還元することにより、地域と調和がとれた健全な鉱業活動の推進を目的とすべく、2013年4月、政府は、ロイヤルティを導入するための鉱業法改正案をメキシコ議会へ提出した。当初改正案は、ロイヤルティとしてEBITDAに対し税率4%を課税するものであったが、財務経済委員会での審議の結果、税率を5%に修正するとともに、当該課税による税収を、課税対象企業が所在する郡政府（自治体）及び州政府に対しそれぞれ30%、50%を分配し、残りの20%を連邦政府に分配することを追加した修正を行い、同年4月に同議会下院で可決された。

同改正案に関しては同年9月に開会する同議会上院での審議が予定されていたが、政府は、同議会に対して、法人税、所得税、付加価値税（IVA）等の改正を含む税制改革法案を提出し、本税制改革法案の中に鉱業に関する税制改革も盛り込むこととした。これにより、4月に下院で可決された鉱業法改正案は事実上、廃案とした上で、下院で可決されていたEBITDAに対する税率5%を7.5%へ引き上げるとともに、貴金属（金、銀及びプラチナ）を生産する企業に関しては更に売上に対し0.5%を課税することを追加することとした。本税制改革法案は、下院、上院の審議を経て、同年10月末に可決、成立し、2014年1月にこれら鉱業特別税等が施行された。

本税制改革法案の可決、成立により実施されることとなった鉱業税制改革では、現行の連邦税法には存在していなかった鉱業特別税と貴金属鉱業特別税が新たに創設されるとともに、鉱業セッション税（料金）の改正等が行われた。また、鉱業特別税や貴金属鉱業特別税等による税収を課税対象企業が所在する郡政府（自治体）や州政府に対し還元するための分配比率に関しては、郡政府（自治体）に対し50%、同じく州政府に対し30%、残りの20%を連邦政府へ配分することとした。

2016年3月、Sinaloa州の第7地方裁判所は、施行された鉱業特別税等は（課税における）公平性及び比例の原則に違反するとして、加Goldcorp社（本社：バンクーバー）のメキシコ現地法人が行ったアンパロ（憲法に問う訴訟）・異議申立を却下する判決を下した。

なお、鉱業税制改革の主な項目は、以下のとおりである。

① 鉱業特別税の創設

鉱物を採掘又は抽出する鉱業企業又は個人に対し、当該鉱業企業又は個人におけるEBITDAに対する7.5%を課税

② 貴金属鉱業特別税の創設

貴金属（金、銀及びプラチナ）を採掘又は抽出する鉱業企業又は個人に対し、売上に対する0.5%を

課税(鉱業特別税の他に、更に課税)

③ 鉱業コンセッション税(料金)の改正

2年以上9年以下の間、鉱業活動が行われていない場合は50%、10年以上鉱業活動が行われていない場合は100%の鉱業コンセッション税(料金)が割り増し等

④ 鉱物輸出時における原産地証明書等の徹底

鉱物輸出時の原産地証明書等の発行、携帯、提示等の徹底

(5) MORENA (国家再生運動党) の鉱業政策

2017年11月、MORENAは大統領選挙を前に同党綱領「2018~2024年国家プロジェクト」を発表。鉱業分野については、環境対策の項目において、社会・環境影響評価、先住民協議を厳格に行うことを目指すとし、同時に、税の未納業者がいる中で政府機関が機能していないことを指摘している。このため、関係機関の組織統合を含めた鉱業法改正を提案している。なお、このプロジェクトに記載されている鉱業分野の内容をまとめると以下の3点に集約される。現地紙は、AMLO候補は遊説先において、環境保全を適切に行い、公正な賃金を支払い、そして税金を納め操業している鉱業コンセッションをキャンセルする考えはない旨発言したと報じている。

- ・ 鉱業は、輸出を目標とした過剰な大規模の鉱山開発を行っている。現在の鉱業政策は鉱山開発に制限を設けていないことから、国土を破壊し、土壌、水、森林、生物多様性といった自然環境の脅威となり、自然との共生や社会構造の形態を狂わせている。
- ・ 2014年にはコンセッション付与の可能性を拡大するため鉱業法改正が行われた。この結果、現在、国土の約3分の1に相当する地域にコンセッションが設定されている。税に関しては、一部の小規模コンセッションには税の軽減措置があり、さらに、その保有者の3分の1が未納状態にあり、国税庁(SAT)、経済省はその徴収を怠っている。
- ・ 鉱山会社による法律不履行や人権侵害が繰り返されているものの、連邦三権(行政・立法・司法)はそれを無視している。社会面、環境面のアセスメント評価と先住民との協議を確立するための鉱業法改正を根幹から行い、組織強化を行う必要がある。さらに、この法律不履行の状況下で付与された鉱業コンセッションに対しては、異議申し立てを行うことが可能である。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
銅	607.9	766.1	755.8	-1.3	3.7	8
鉛	260.8	241.3	240.9	-0.2	4.8	5
亜鉛	694.5	661.2	683.3	3.3	5.2	6
金(t)	123.4	132.4	130.5	-1.5	4.0	8
銀(t)	5,974.8	5,408.5	5,397.5	-0.2	21.8	1
鉄鉱石	14,142.7	12,089.7	10,212.7	-15.5	0.3	15
マンガン	217.4	221.1	242.8	9.8	0.4	14
モリブデン	12.3	11.2	13.3	18.6	4.4	5
アンチモン(t)	90.0	166.0	180.0	8.4	0.1	11
ビスマス(t)	601.0	539.0	513.0	-4.8	18.3	3

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
銅	445.8	473.8	423.8	-10.5	1.8	13
鉛	353.9	341.4	342.0	0.2	3.1	7
亜鉛	326.8	321.2	328.7	2.3	2.4	9
セレン	99.0	121.0	112.0	-7.4	2.8	8

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

(3) 主要金属地金消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
銅	393.2	423.3	371.5	-12.2	1.6	11
鉛	235.1	252.3	232.7	-7.8	2.0	10
亜鉛	161.2	181.1	146.8	-19.0	1.0	17
ニッケル	3.4	3.9	3.9	0.5	0.2	24
錫	3.6	4.2	4.1	-1.6	1.1	15

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

(4) 主要金属輸出力

表 3-4. 精鉱・地金等輸出力

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅					
銅鉱石	202.7	332.9	370.8	11.4	中国、ドイツ、韓国
銅地金	137.9	174.7	156.9	-10.2	米国、中国
鉛地金	202.7	332.9	370.8	11.4	中国、ドイツ、韓国
亜鉛地金	137.9	174.7	156.9	-10.2	米国、中国
鉄鉱石	176.4	41.4	114.2	175.5	中国
アルミニウム地金	128.7	97.6	121.7	24.7	米国、ブラジル

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018、International Trade Center)

(5) 主要金属輸入量

表 3-5. 精鉱・地金等輸入量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
銅					
銅鉱石	60.6	41.6	51.3	23.3	米国、チリ、ペルー
銅地金	84.5	124.1	106.9	-13.9	チリ、米国
鉛地金	60.6	41.6	51.3	23.3	米国、チリ、ペルー
亜鉛地金	84.5	124.1	106.9	-13.9	チリ、米国

世界の鉱業の趨勢 2018

錫地金	3.6	4.2	4.1	-2.2	ブラジル、インドネシア、ペルー
ニッケル地金	9.9	8.6	12.3	43.8	米国
鉄鉱石	1,460.3	3,698.9	2,002.4	-45.9	ブラジル、スウェーデン、米国
アルミニウム地金	5.6	20.0	8.9	-55.4	カナダ、ペルー

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2018、International Trade Center)

4. 鉱山・製錬所状況
表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	生産量			備考
			2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	
La Caridad	Grupo México 社 (80)	銅 モリブデン 金(t) 銀(t)	n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a	2014年以降は鉱山毎の生産量(一部を除く)を非公表
Buenavista (旧 Cananea)	Grupo México 社 (80)	銅 金(t) 銀(t)	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	2014年以降は鉱山毎の生産量(一部を除く)を非公表
Charcas	Grupo México 社 (80)	亜鉛 銅	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	2014年以降は鉱山毎の生産量(一部を除く)を非公表
Santa Bárbara	Grupo México 社 (80)	亜鉛 銅	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	2014年以降は鉱山毎の生産量(一部を除く)を非公表
Santa Eulalia	Grupo México 社 (80)	亜鉛	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2014年以降は鉱山毎の生産量(一部を除く)を非公表
Fresnillo	Fresnillo 社 (100)	銀(t) 金(t) 鉛 亜鉛	485.59 1.06 16.25 19.03	493.46 1.31 21.33 25.90	513.58 1.21 20.51 30.02	
Herradura	Minera Penmont 社 (100) ※ Fresnillo 社の子会社	金(t) 銀(t)	12.41 16.36	16.19 19.84	14.73 17.14	2014年、Newmont Mining 社保有の株式を買収
Soledad-Dipolos	Minera Penmont 社 (100) ※ Fresnillo 社の子会社	金(t) 銀(t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	現在は操業停止中
Noche Buena	Minera Penmont 社 (100) ※ Fresnillo 社の子会社	金(t) 銀(t)	4.92 2.27	5.67 1.03	5.36 0.96	2014年、Newmont Mining 社保有の株式を買収
Cienega	Fresnillo 社 (100)	金(t) 銀(t) 鉛 亜鉛	2.66 150.17 5.42 5.97	2.27 159.59 5.88 7.45	2.24 167.77 6.33 7.05	
Saucito	Fresnillo 社 (100)	銀(t) 金(t) 鉛 亜鉛	683.78 2.64 20.74 21.02	682.60 2.68 29.94 23.50	659.86 2.18 17.71 20.35	
San Julian	Fresnillo 社 (100)	銀(t) 金(t) 鉛	— — —	— 0.98 —	327.64 2.63 3.60	金・銀生産量は2016年に開始した第1フェーズ

		亜鉛	—	—	7.84	と、2017年に開始した第2フェーズを合わせたもの。
Francisco I. Madero	Peñoles 社 (100)	亜鉛 鉛 銅 銀 (t)	42.61 11.63 0.81 28.22	47.54 10.05 1.25 31.18	50.16 8.68 1.72 30.07	
Naica	Peñoles 社 (100)	鉛 亜鉛 銅 金 (t) 銀 (t)	— — — — —	— — — — —	— — — — —	地下水の増加により現在生産中止
Sabinas	Peñoles 社 (100)	亜鉛 鉛 銅 銀 (t)	12.31 7.49 4.91 123.01	13.82 8.78 5.70 143.86	14.08 7.94 6.61 137.94	
Tizapa	Peñoles 社 (51)、同和メタルマイン (39)、住友商事 (10)	亜鉛 鉛 銅 金 (t) 銀 (t)	41.00 8.01 1.81 0.98 171.09	39.51 8.39 1.12 0.98 180.48	39.82 8.03 1.17 1.14 179.99	
Bismark	Peñoles 社 (100)	亜鉛 銅 鉛 銀 (t)	41.24 1.27 1.77 13.14	43.02 1.03 1.73 11.42	35.09 0.97 1.79 9.43	
Milpillas	Peñoles 社 (100)	銅 (SxW)	25.94	24.09	19.92	
Velardeña	Peñoles 社 (100)	金 (t) 銀 (t) 亜鉛 鉛 銅	0.16 22.88 80.54 3.17 1.86	0.14 18.02 85.81 3.57 1.52	0.13 21.48 80.73 4.22 1.71	
El Coronel	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
Asientos	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t) 亜鉛 鉛 銅	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
San Francisco del Oro	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t) 亜鉛 鉛 銅	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
María	Minera Frisco 社 (100)	銅	n/a	n/a	n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
San Felipe	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
Tayahua	Minera Frisco 社 (51)	金 (t) 銀 (t) 亜鉛 鉛 銅	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a n/a	2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
Ocampo	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2012年12月、加 Aurico Gold Inc. から購入 2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
El Provenir	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2013年1月、商業生産開始 2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
Concheño	Minera Frisco 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	n/a n/a	n/a n/a	2013年、商業生産開始 2013年以降、鉱山毎の生産量を非公表
Mulatos	加 Alamos Gold 社 (100)	金 (t)	4.36	4.79	4.98	

El Chanate	加 Alamos Gold 社 (100)	金 (t)	2.47	2.12	1.88	2015 年 7 月、加 AuRico Gold 社買収により入手
Los Filos	加 Leagold Mining 社 (100)	金 (t)	8.50	6.03	5.95	2017 年 4 月、加 Goldcorp 社から買収
Peñasquito	加 Goldcorp 社 (100)	金 (t) 銀 (t) 亜鉛	26.76 806.41 78.88	14.46 556.85 49.62	14.81 668.88 60.47	
Guanacevi	加 Endeavour Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	107.02 0.23	73.53 0.17	65.32 0.15	
Bolanitos	加 Endeavour Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	45.09 0.75	32.74 0.96	27.99 0.84	
El Cubo	加 Endeavour Silver 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	0.89 71.17	0.66 62.79	0.66 59.10	2012 年 7 月、加 Aurico Gold 社から買収
San Dimas	加 First Majestic Silver 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	4.71 258.00	2.92 165.47	1.87 123.17	2018 年 5 月、加 Primero Mining 社から買収
La Parilla	加 First Majestic Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 鉛 亜鉛	75.71 0.04 4.74 7.95	69.08 0.03 4.83 4.80	53.82 0.03 2.97 1.79	
San Martin	加 First Majestic Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	71.44 0.18	59.19 0.13	56.68 0.21	
La Encantada	加 First Majestic Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (oz)	78.69 131	84.18 94	67.74 79	
La Guitarra	加 First Majestic Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	29.41 0.21	28.73 0.25	19.03 0.17	2012 年 7 月、加 Silvermex Resources 社買収により入手
Del Toro	加 First Majestic Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 鉛	70.34 0.01 13.48	46.68 0.01 10.22	34.99 0.01 8.15	2013 年 1 月、商業生産開始
Santa Elena	加 First Majestic Silver (100)	金 (t) 銀 (t)	n/a n/a	1.51 80.82	1.53 70.98	2015 年 9 月、加 SilverCrest Mines 社買収により入手
Topia	加 Great Panther Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 鉛 亜鉛	21.09 0.02 1.20 1.85	17.85 0.02 1.03 1.50	18.54 0.02 1.29 1.76	
Guanajuato	加 Great Panther Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	53.12 0.66	45.82 0.67	43.14 0.67	近隣に位置する San Ignacio 鉱山を含む
San Ramon Noche Buena Cuchara-Oscar Mirasol	加 Impact Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 鉛 亜鉛	29.55 0.02 0.45 0.26	29.63 0.02 0.43 0.04	28.24 0.02 0.48 n/a	左記生産量は、Guadalupe 生産センターにおける 4 鉱山分の処理量
La Colorada	加 Pan American Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 鉛 亜鉛	164.85 0.08 4.30 8.90	180.24 0.09 6.00 11.40	219.47 0.13 8.8 15.44	
Alamo Dorado	加 Pan American Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t) 銅	93.31 0.63 n/a	57.98 0.26 0.03	19.94 0.07 1.0	
Dolores	加 Pan American Silver 社 (100)	銀 (t) 金 (t)	133.74 2.46	119.38 3.20	131.63 3.20	2012 年 3 月、加 Minfinders 社買収により入手
Cozamin	加 Capstone Mining 社	銅 亜鉛	15.05 5.86	14.37 4.19	16.73 4.23	

	(100)	鉛 銀 (t)	0.68 40.03	0.13 31.13	0.05 31.10	
Bolivar	加 Sierra Metals 社 (100)	亜鉛 銅 (t) 銀 (t) 金 (t)	0 8.00 13.70 0.10	0 7.76 12.38 0.09	0 6.83 10.17 0.09	2012年12月、Dia Bras Exploration 社から名称変更
Cusi	加 Sierra Metals 社 (100)	銀 (t) 鉛 (t) 金 (t) 亜鉛	27.17 1.25 0.03 —	23.02 1.86 0.03 0.82	10.48 0.80 0.01 0.43	2013年1月、商業生産開始
Cerro San Pedro	加 New Gold 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	3.28 46.66	2.02 27.99	1.06 18.66	
Platosa	加 Excellon Resources 社 (100)	銀 (t) 鉛 亜鉛	24.70 1.99 3.34	23.41 2.01 2.53	22.35 1.92 2.75	
Nuestra Señora La Verde San Rafael El Cajon	加 Americas Silver 社 (100)	鉛 銅 亜鉛 銀 (t)	10.39 0.79 5.28 82.42	13.18 0.48 4.76 74.33	11.52 0.53 5.27 63.95	2014年12月、加 Scorpio Mining 社と合併により入手 左記生産量は、Cosala オペレーション (Nuestra Señora 処理施設) における4鉱山分の処理量
Campo Morado	加 Telson Resources 社 (100)	亜鉛 銅 銀 (t) 金 (t)	1.00 0.10 0.65 0.00	n/a n/a n/a n/a	n/a n/a n/a n/a	2017年4月にベルギー-Nyrstar から買収、2018年5月より商業生産開始
Cerro Colorado	加 Goldgroup Mining 社 (100)	金 (t)	0.00	—	—	2016年より生産なし
Cerro Prieto	加 Goldgroup Mining 社 (100)	金 (t)	—	n/a	n/a	2016年より生産開始
Pinos Altos	加 Agnico Eagle Mines 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	7.70 77.76	7.47 83.98	5.63 78.85	2016年までの生産量は Creston Mascota 鉱山生産量との合計として公開されていたが、2017年より鉱山別生産量を公開
Creston mascota	加 Agnico Eagle Mines 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	7.70 77.76	7.47 83.98	1.50 8.74	2016年までの生産量は Pios Altos 鉱山生産量との合計として公開されていたが、2017年より鉱山別生産量を公開
La India	加 Agnico Eagle Mines 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	3.25 —	3.58 15.12	3.15 9.74	2014年4月、商業生産開始
La Negra	加 Aurcana 社 (99.9)	銀 (t) 銅 亜鉛 鉛	40.25 2.60 6.21 1.64	— — — —	— — — —	2016年以降生産中止
El Castillo	加 Argonaut Gold 社 (100)	金 (t)	2.48	1.94	1.84	
La Colorada	加 Argonaut Gold 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	2.50 6.00	1.76 5.74	1.58 5.42	2012年2月、商業生産開始
San Agustin	加 Argonaut Gold 社 (100)	金 (t) 銀 (t)	— —	— —	0.32 1.40	2017年10月商業生産開始
San Martin	加 Starcore International Mines 社	金 (t) 銀 (t)	0.57 3.02	0.44 2.06	0.37 3.18	2013年以降の生産量は前年8月から当該年7月までの12か月分
La Arista	米 Gold Resource 社 (100)	金 (t) 銀 (t) 銅 鉛 亜鉛	0.92 77.96 1.31 4.17 13.90	0.86 57.78 1.04 4.05 14.30	0.87 55.15 1.14 5.37 16.30	

San Francisco	加 Alío Gold 社(100)	金(t) 銀(t)	2.90 1.62	3.12 1.75	2.60 1.21	2017年5月に Alío Gold から社名変更
Palmarejo	米 Coeur Mining 社(100)	金(t) 銀(t)	2.21 202.48	2.30 136.86	3.78 223.95	
Aranzazú	加 Aura Minerals 社(100)	銅 金(t) 銀(t)	0.55 n/a n/a	n/a n/a n/a	n/a n/a n/a	2015年1月に操業一時停止、2017年7月に生産再開に向けたFS調査結果を発表
San José	加 Fortuna Silver Mines 社(100)	銀(t) 金(t)	152.41 1.20	190.49 1.43	234.10 1.74	
Luz del Cobre	加 Red Tiger Mining 社	銅	n/a	n/a	n/a	2013年7月、商業生産開始
Mercedes	加 Premier Gold Mining 社(100)	金(t) 銀(t)	2.61 11.91	0.71 3.06	2.57 10.51	2016年10月、Yamana Gold 社より買収
San Gonzalo	加 Avino Silver & Gold Mines 社	金(t) 銀(t)	0.13 28.22	0.11 25.59	0.08 18.37	2012年10月、操業開始
Avino	加 Avino Silver & Gold Mines 社	銀(t) 金(t) 銅	22.00 0.09 2.15	24.55 0.11 1.91	24.99 0.16 1.98	2014年9月、試験操業開始
Hércules	Minera del Norte 社(100)	鉄	3,640	-	-	Altos Hornos de Mexico 社の子会社 2016年操業停止
Peña Colorada	ArcelorMittal Mexico 社(50)、Ternium 社(50)	鉄	3,500	2,900	3,600	
Las Truchas Volcan	ArcelorMittal Mexico 社	鉄	3,600	1,400	3,300	Volcan 鉱山 2015年10月操業停止、2017年2月操業再開
El Limon Guajes	加 Torex Gold 社(100)	金(t)	-	8.71	7.49	2016年3月商業生産開始

(出典：各社 Annual Report、HP)

(注：鉱種の中に単位の記載のないものは(千t))

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬・精錬所名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種 形態	生産量			備考
			2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	
La Caridad 製錬所	Grupo México 社 (100)	銅	n/a	n/a	n/a	2013年以降、 生産量を非公 表
		金(t)	n/a	n/a	n/a	
		銀(t)	n/a	n/a	n/a	
La Caridad 精錬所	Grupo México 社 (100)	銅	n/a	n/a	n/a	2013年以降、 生産量を非公 表
		金(t)	n/a	n/a	n/a	
		銀(t)	n/a	n/a	n/a	
San Luis Potosí 精錬所	Grupo México 社 (100)	亜鉛	97.7	n/a	n/a	2013年以降、 生産量(一部を 除く)を非公表
		金(t)	n/a	n/a	n/a	
		銀	n/a	n/a	n/a	
Met-Mex Peñoles 精錬所 (Torreón)	Peñoles 社(100)	鉛	113.86	111.4	112.6	
		亜鉛	226.01	215.1	222.6	
		ビスマス	0.60	n/a	n/a	
		金(t)	45.25	44.2	45.25	
		銀(t)	2,187.5	2,035.2	2,259.1	

(出典：Grupo México 社 Annual Report、Peñoles 社 Annual Report)



図 1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

5. 探鉱状況

メキシコでは、中・大規模の案件に関してはカナダ企業を始めとする外資系企業と大手メキシコ企業を中心に、小・中規模の案件に関しては地元の中小企業等により探鉱が行われている。

経済省によると、2017 年末現在、外資によるプロジェクト数は 988 件で、そのうち探鉱段階のプロジェクト数は 662 件であり、開発段階のプロジェクト数は 45 件、現在生産中である鉱山における拡張工事等に関するプロジェクト数は 107 件、延期のプロジェクト数は 174 件である。鉱種別では、金、銀は 560 件、多金属は 144 件、銅は 193 件、鉄鉱石は 53 件、その他 38 件であった。

また、CAMIMEX によると、2017 年における探鉱投資額は 612 百万 US\$ であった。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	2017 年 (千 t)	対前年増減比 (%)
亜鉛鉱石	70.9	102.4	104.2	1.8
地金	-	2.1	4.2	-
モリブデン鉱石	3.4	2.1	2.1	2.0
銅鉱石	65.3	141.6	83.3	- 41.2
地金	0.1	0.4	-	-
金地金	0.0	-	-	-

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

・Tizapa 鉱山 (México 州)

同鉱山開発の経緯は、メキシコ政府が 1986 年に日本政府に対し鉱山開発の可能性を調査するための技術協力を要請、翌 1987 年から 1991 年までの 4 年間、政府開発援助 (ODA) による資源開発協力基礎調査事業を国際協力事業団 (JICA) からの委託を受けた金属鉱業事業団 (現石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)) が実施した。メキシコ政府は、同調査事業の結果を基に 1992 年に同鉱山の開発権を国際競争入札にかけたところ、同和鉱業及び Peñoles 社の企業連合が落札、その後、住友商事が資本参加し本格的な開発が開始され、1994 年に操業を開始した。

同鉱山は、同和鉱業 (現：同和メタルマイン) 39%、住友商事 10% 及び Peñoles 社 51% の出資比率で、現在、高品位亜鉛を主体に、銀、金等貴金属の生産を実施しており、亜鉛精鉱については、その多くが同和グループの秋田製錬 (株) にて亜鉛地金に製錬されている。

・Los Gatos プロジェクト (Chihuahua 州)

2014 年 12 月、同和メタルマインは、Sunshine Silver Mining & Refining 社 (本社：米国コロラド州、以下「SSMR 社」との間で、SSMR 社が 100% 子会社 Minera Plata Real 社 (本社：メキシコ合衆国メキシコ市、以下「MPR 社」) を通じて権益を保有する本プロジェクトへの参画に合意し、パートナー契約を調印した。同和メタルマイン は、MPR 社に対して 50 百万 US\$ のフィービリティ・スタディー (約 2 年間で想定) 費用を拠出することにより、MPR 社の 30% の権益及び本プロジェクトから生産される亜鉛精鉱の引取権を獲得する。JOGMEC は、同和メタルマインが MPR 社へ拠出した資金を海外探鉱資金貸付の対象とすることを決定し、融資を実行した。

・Sonora リチウム・プロジェクト (Sonora 州)

2017 年 4 月、阪和興業は、Sonora 州において Sonora Lithium プロジェクトを進めている加 Bacanora Minerals 社に対して一部出資をすることを決定し、同月、両社間で出資契約を締結した。2018 年 9 月、Sonora 州 Claudia Pavlovich Arellano 知事は、2020 年第 1 四半期の生産開始を目指し、同プロジェクトの建設工事が開始されたことを発表した。なお、出資社である阪和興業は契約により同プロジェクトから生産される高純度炭酸リチウムの供給を受けることとなる。

7. その他トピックス

(1) エネルギー改革

2013 年 12 月にエネルギー改革のための憲法改正案がメキシコ議会で可決、承認され、これまでメキシコ石油公社 (PEMEX) が独占していたメキシコ国内における石油・天然ガスの開発事業に対し、外国資本を含む民間企業の参入の機会が開かれることになった。このため、石油・天然ガスと同様に地下資源の探鉱、採掘を実施している金属鉱業企業も、新たなビジネスチャンスとしての石油・天然ガスの開発事業に参入することが可能となり、2018 年 9 月までに陸上、海洋の入札で落札された全 107 鉱区の契約が締結され、日本の INPEX 社は 2 鉱区を落札している。また、鉱区の民間開放に加え、民間開放鉱区を決定する前に PEMEX に割り当てられた鉱区についても、Farm-Out 方式で民間と共同で開発することが可能であり、2016 年 12 月に行われた Farm-Out 案件の Trion 鉱区では、資源企業である豪 BHP がメキシコ石油開発に参入している。

また、本エネルギー改革では電力改革も行われ、民間企業による発電・小売事業に対する参入が完全に自由化されることとなった。このため、鉱山等において電力コストを下げる目的で自らの電力を賄うために整備した (又は整備する) 発電設備に関し、今後は余剰電力をメキシコ電力公社 (CFE) 等へ積極的に売電することが可能となる。さらに、石油の下流分野の自由化も進んでおり、購入先が多様化、燃料価格の低下が期待されている。

(2) 北米自由貿易協定 (NAFTA) 再交渉

2017年1月に就任した米国 Trump 大統領は、選挙期間中から、1994年にメキシコ・米国・カナダの間で発効した北米自由貿易協定 (NAFTA) の再交渉という政策を1つの公約として勝利した。同政権発足後の2017年5月、USTR 代表は、NAFTA 再交渉を開始する意向を議会に通知し、再交渉会合が続けられてきたが、原産地規則、紛争処理規定等の交渉が難航し続けてきた。

そのような中、2018年8月、米・メキシコの二カ国間で行った NAFTA (北米自由貿易協定) の再交渉が大筋合意に達したことを発表し、9月30日、米国とカナダとの協議が合意に達し、3カ国で妥結した。メキシコ鉱業界にとって、米国は金属鉱業製品の輸入国 (表 3-4. 参照) であり、鉱業関係者は、米国との貿易摩擦が注目されている中での新 NAFTA 合意に一定の評価を与えている。

(2018. 10. 1 メキシコ事務所 森元英樹、佐藤すみれ)